

JAN

CONTENTS

たまねぎ…表紙 第26回 JA能美 通常総代会…P2～5
各種功績者表彰、ライフアドバイザー表彰式…P6
営農だより…P7 女性部だより…P8～9
川北給油所定休日のご案内、JAグリーン能美～いいJAN…P10
JA通信…P11
2024貯金キャンペーンチラシ・能登復興応援…P12



7

2024 JULY
No.557



JA能美 公式instagram
~FOLLOW ME~

 JA能美

第26回

JA能美 通常総代会



令和6年6月22日(土) 午前10時より、根上総合文化会館音楽ホール「タント」(能美市大成町)で『第26回JA能美 通常総代会』を開催しました。

本人出席261名・書面議決書163名の出席者が確認され、開催当日現在の総代総数530名に対して、定款に規定する過半数を超え、この通常総代会が成立し会議が進められました。

中出俊範代表理事

専務が開会の言葉を述べた後、作田実喜秋代表理事組合長が次のように挨拶を述べました。

総代会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。



挨拶をする作田組合長

本日は、第26回通常総代会を開催いたしましたところ、総代の皆様には、何かとご多様な中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

また、平素より、JA能美の各事業に、ご理解とご協力をいただいておりますことを、この場をお借りし、高いところからではありますが、重ねて御礼を申し上げる次第でございます。

さて、令和5年度は、昨年5月5日の珠洲沖地震に始まり、かほく地区を中心とした大規模な水害の発生、そして、本年元日の最大震度七を記録した能登半島地震発生と、正に命と暮らしを脅かす大災害に見舞われた一年となりました。

甚大な被害を受けた能登地区においては、県・国が一体となった支援体制のもと、復旧・復興に向けて着実に歩みを進めているところであります。

県下JAグループにおいても、石川県との連携会議を設け、被災地区の営農活動再生へ向けた支援とともに、加賀地区へ避難された方々の生活面でのサポートに取り組んでいるところであり、今後とも一日も早い復旧・復興へ向け、支援活動を継続してまいります。

一方、令和5年度の農業生産活動を顧みますと、高温障害による産米の一等比率低下が全国で顕著となり、高温耐性品種が注目を集めることとなりました。このような中、JAグループが集荷した石川県産主食用米の全銘柄平均の一等比率は82.7%となり、前年と同レベルを維持し、当JA管内産米においては、全銘柄平均で一等比率89.84%と県平均を上回りました。これも

偏に、生産者各位が長年にわたって続けてこられた「土づくり」の成果であると、その取り組みに改めて敬意を表する次第であります。

また、この令和5年度を境に、コメの販売状況と価格に変化が表れています。民間在庫量の減少と全国の生産者の基準数量遵守による計画作付けが奏功して需給が改善し、取引価格が上昇傾向に転じる中、これを後押しするように、インバウンドの回復によって外食需要が拡大するという明るい兆しが見え始めました。

しかし、その一方で、主産地の令和5年産米が、猛暑による品質低下を受けて流通量が減少し、品薄感が強まったことで、一部の銘柄を中心に価格が高騰しており、次年度以降の生産活動への影響が懸念される状況となっております。JAとしては、このような特殊事情も踏まえ、将来へ向けて需給の安定と適正価格の形成を目指し、基準数量遵守を啓蒙するとともに、生産者コストの低減と良質米生産のための活動を継続してまいります。

このような状況のもとで取り組んできた、当JAの事業活動の成果について、その概略をご報告いたします。

令和5年度は、第8次中期経営計画ならびに自己改革工程表に則り、確固たる経営基盤の強化を図るとともに、農業生産の拡大と農業者所得の増大、また、これによる地域の活性化に取り組んでまいりました。その結果、事業総利益は11億19百万円と事業計画を下回ったものの、当期剰余金は1億81百万円となり、年度計画を達成するとともに、自己資本比率においても28.3%という高い水準を維持することができました。これも偏に組合員各位のご理解とご協力の賜物と、衷心より御礼を申し上げます。

一方で、この数年間で経営環境は急激に悪化しており、とりわけ信用事業ならびに共済事業は、長らく続いた金融緩和政策によって収益が大幅に低下し、JAの経営全体に大きな影響が出ています。この3月末をもって政府・日銀の金融政策が見直され、4月以降、徐々

に金利を実感する事業環境に移っておりますが、従来の事業モデルではこれまでのような収益を生み出すことは困難な状況であり、各事業の在り方とともに実施体制の見直しが必要となっております。

今後は、信用事業、共済事業においては、組合員に対する相談機能を高めるため、より一層職員のスキル向上に取り組みとともに、業務改善を進めることで、収益力と利用者サービスの向上に取り組みでまいります。また、営農部門においては、農業経営コンサルティング業務を拡大して、個別経営体ごとの経営診断に基づく収益力向上策を提案するなど、農業生産と所得向上へ向けた取り組みを強化してまいります。

なお、合併問題につきましては、令和9年4月1日実施へ向け、合併研究会で設定したスケジュールに従って、会議を定期開催し、検討を続けていくところであります。一つ一つの課題を解決しながら、目標期日での合併を実現できるよう取り組んでまいる所存でございます。

結びに、本日ご出席の総代各位におかれましては、JA能美に対し変わらぬご支援を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様とご家族の一層のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

この後に、辰口支店総代の塚田義春氏が議長に選出され、議案審議に移りました。



議長を務める塚田氏

第1号議案から4号議案まで審議され、全議案原案通り可決・決定されました。

提出議案については、次のとおりです。

【提出議案】

第1号議案 令和5年度事業報告および剰余金処分案

承認の件

第2号議案 令和6年度事業計画案承認の件
第3号議案 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更の件

第4号議案 令和6年度における理事および監事の報酬に関する件

【報告事項】

報告事項1 加賀地区広域合併構想の件
報告事項2 令和5年度貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書

並びに会計監査人および監事の監査報告の件

報告事項3 JAバンク基本方針の変更の件

最後に、中出俊範代表理事専務が閉会の挨拶をし、第26回通常総代会は滞りなく終了いたしました。



総代、組合員の皆さまよりいただきました主なご意見・ご質問とその回答については、

次のとおりです。

総務部門

■質問①： 加賀地区広域合併構想について「将来像」に「地域密着のJA事業、活動展開」とあるが現状と異なる「新たな展開」とは具体的に何かという質問です。

【回答①】 合併によって現在事業化出来ていない分野の新たな事業展開が望めます。具体的には、「宅地等供給事業」と「相続や資産管理に関する相談業務」がございいます。この2つの業務は、組合員・地域の皆様にとっても需要が多く、JAが行うことで有益なサービスになると考えています。しかし、当JAの現状は以前より不動産業の業者免許を取得しておりますが、体制を整えることができず、今は取引実績が全くない状態です。また、相続相談については、提携する税理士や弁護士との連携で、一定水準の相談機能はありますが、よりスピーディにより高いレベルで対応するためには専門部署を設置しなければなりません。合併対象の6JAの中で2JAが既に不動産業務もしくは総合相談業務を行っております。合併によって、これらのサービスは地域に密着した事業として広範囲にメリットを共有できる具体例であります。

また、地域に密着した活動として、新たな地域コミュニティの形成をあげることができます。このためのアプローチとして、新規就農を促進することで、地域への人材の流入と農業の活性化を促すことができます。農業者が増加することで、JAにとっては、正組合員の増加につながりますし、JAが基点となって地域の活性化につながります。小さなJA単位では困難な活動も、広域合併によってそれぞれが保有する人材とノウハウを有効に活用することであらたな展開が可能となります。

■質問②： 令和6年能登半島地震対応に関して2件いただいております。

その一つ目として「被災地区の営農活動再開に向けた

支援とともに加賀地区へ被災された方々の生活面でのサポートに取り組んでいる」とあるが、具体的にどのような支援、サポートを行ってきたのか、また、今後の対応はという質問です。

【回答②】被災した能登地区JAに対し救援物資として、「はと麦茶ペットボトル」50ケースを送り「JA能登わかば」へは、農業用倉庫のはい積み作業に延べ6名の職員を派遣しました。また、支店窓口での義援金募金を行い、組合員・利用者の善意と合わせてJA能美役員互助会、職員互助会、女性部からの義援金合計1,640,016円を送りました。

女性部活動では地域貢献活動の一環として能美市のボランティアグループ、JA根上女性部とともに辰口福祉会館で週に1回カフェを開き、被災者への心の支援を行っています。

今後とも被災地域への職員派遣による復旧・復興を微力ながら支援してまいりたいと考えています。

二つ目では、令和6年能登半島地震で耕作可能農地は約6割となっている現状で、JA能美に寄付に関する規約・規程等を整備し、JA能美が主体となつてさらなる支援をすべきではないかという質問についての回答です。

農業協同組合には、一般社団法人のような寄付行為を定めた規程はありません。

現状で、JA能美として行っている能登半島地震に係る支援は、被災JAに対する義援金の支出や、農業倉庫内の整理のための人員の派遣、能登地区から加賀地区へ避難してこられたJA職員の雇用などです。

農機具の損傷が激しい、人手がないため営農活動が行えないといった地域に対しては、加賀地区の大型農家や法人が能登地区へ出張して耕作するというケースが見られるようになりました。

JAグループとしては、個々のJAが被災地の営農活動に直接たずさわるのではなく、石川県との連携会議のもと、被災地の営農活動再開のために必要な要望をとりまとめ、その要望を国に対して迅速につなぐと

いう役割を担っています。

被災地への支援については、個々のJAができることは少なく、単協が主体的に取り組めるようなレベルのものはありません。あくまでも、石川県JAグループが総力をあげて、行政との連携のもとで取り組むこととしておりますのでご理解をお願いします。

【質問③】令和5年度において退任された役員は何人で、新任役員は何人かという質問です。

【回答③】令和5年度中の退任役員は理事10名、監事は2名です。また、新任役員は、理事で9名、監事で3名です。

【質問④】事業管理費において業務費の中の業務委託費が高額であるがどのような業務を外部委託しているのかという質問です。

【回答④】主なものとしては㈱JA石川電算センターへの委託費、みのり監査法人への監査報酬です。その他には就職サイトへの職員採用に関する事務費、ホームページの運用管理費などです。

【質問⑤】総代会資料によると令和5年度は例外として、年々事業利益が減少している。職員数も10年前と比較し49名減少、人件費についても同比9千万円の減少となっている。このような状況下現状並びに将来の職員の労働環境が不安視される。当JAの職場は魅力ある職場になっているのか？また、賃上げについてはどのような現状かとの質問です。

【回答⑤】ご指摘の通り事業利益は年々減少しています。令和5年度につきましては、60歳定年制を確実に担保するために、早期退職を促すための制度であった退職金割増制度を廃止したこと、一時的に人件費が大幅に減少して事業利益が増加したものです。事業活動の成果ではなく、制度変更に伴う一時的なものであることをご理解下さい。

また、職員の労働環境や賃金といった職場の魅力に

関する点についてですが、1点目として、雇用の確保という点では、法令にしたがって、65歳までの再雇用を確実に実施していますし、努力義務となっている70歳までの雇用につきましても、経営の状況を見極めながら対応したいと考えています。

2点目に、賃金の関係であります。各業界の新卒初任給が急激に上昇しており、採用競争で負けているのが実情です。このため、本年度採用より初任給を上げて対応することとしました。

3点目として、職員数が減少したことによる労働環境への影響ですが、新卒採用が減少する中、充分とは言えないものの、定年後再雇用によって一定程度の人員の確保は出ています。

また、働き方改革に対応して、柔軟な勤務体制を導入するとともに、各種の休業・休暇制度の活用、事業推進体制の見直しなど、働きやすい職場づくりに努めています。

【質問⑥】若手職員の農業研修の現状について質問がありました。

【回答⑥】若手職員の農業研修については、第8次中期経営計画で取り組んでおります職員教育の一環として水稲の育苗施設や加賀丸いも・玉ねぎの選別作業などの労務作業に従事しており、生産者とのコミュニケーション力の向上を目的に今後も継続していきます。

【質問⑦】JA能美のカレンダーのサイズが小さくなり不便であり、元のサイズに戻してほしいとの要望がありました。

【回答⑦】努力して元のサイズに戻せるよう検討いたします。

営農部門

■質問①：農業従事者の育成が必要ではないかという質問です。

【回答①】 農業従事者の育成についてはですが、JA能美では、営農推進課が中心となって地域農業の担い手訪問活動を通じて、担い手の課題解決のための取り組みを進めています。様々な課題の中には農業の事業承継等の相談もあり、営農技術指導だけではなく、地域の農業継続に寄与できるよう取り組んでまいります。また、農業に魅力を感じ、承継等により若手農家の方が少しずつ増えてきており、農業技術と併せて農業情勢や補助事業の提案など支援させて頂いています。

JAグリーンの生産者育成拡大については、今年度設立した園芸振興課が既存生産者への作物提案や新規生産者拡大に向けた活動を始めたところであります。

■質問②：農業収入は年々減少しているが農家に対しJAはどのような還元をしているのかという質問です。

【回答②】 総代会資料にもありますように営農指導事業が主に還元にあたるものと考えております。その中には、肥料・農薬の高騰対策、大口取引に対する値引きなどが上げられます。また、今回の事業分量配当についてですが令和4年度では主食用米に対する配当単価は、60キログラムあたり2000円でしたが、500円まで増額しております。事業分量配当全体でも令和4年度より2,500万円余り多い4,200万円余りとなっております。少しでも農家の皆様の所得増大になればと思っております。

■質問③：栗生町に建設中の給食センターで取り扱う米について、JA能美としてどのように取り組んでいるのかという質問です。

【回答③】 建設中の給食センターでは、極力地元食材を利用して運営を行うことになっており、米に関しては、ほぼ100%JA能美のコシヒカリを使用することとなっております。

経済部門

■質問①：川北給油所の懸垂型計量器の修繕をお願いしたいとの要望がありました。

【回答①】 昨年度もご指摘を頂いており大変申し訳ございません。早急に修繕いたします。

■質問②：誰もが行きたくなるJAグリーンに、消費者のほしくなる商品をとの意見です。

【回答②】 当JAグリーンは平成23年4月オープン当初、産直品の売り上げが約1億円でしたが現在では皆様から多くの出荷を頂き、産直品の売り上げは、約2億5千万円となっております。これは、出荷頂いている農家の方の努力の賜物であり、この生産者の努力が消費者の方の信頼、支持を得たものだと考えています。今後は、同じ作物でも品種の違うものを作ってもらうなど消費者の方へ選ぶ楽しさを知ってもらい、今まで以上にお店へご来店頂けるような商品ラインナップに努めていきたいと思っています。無農薬、有機栽培についても関係機関を交えて生産者へのアドバイスなどに取り組み、お客様のニーズにお応えしていけるよう併せて進めていきたいと思っています。

信用部門

■質問①：信用取引の入出金伝票手数料について農家支援の観点から無料化を継続してほしいとの要望です。

【回答①】 農業に関係するものは、手数料を無料化しておりますが、あくまでも当面の措置であることをご理解いただきたいと思います。JAは一般的な金融機関に比べて手間のかかる作業が多いにもかかわらず無料としているものが多く、信用事業の収支が悪化している現状では、これを継続することは困難であると考えています。

また、現在、業務改善を進める中で各支店の窓口担

当者を1名減らしており、ネットバンクに誘導するなど作業量の削減に取り組んでいることにもご理解を頂きたいと思っています。

その他

■質問①：農林中央金庫が巨額の損失を計上し系統機関に資本増強を求めるとの報道があったがJA能美の対応はどうなるのかとの質問です。

【回答①】 支店説明会においては、できるだけ正確に説明するために、農林中央金庫の決算発表に基づく現状と、その時点で農林中金と石川県信連より連絡のあった対応策について回答しました。

内容は、令和6年度決算において5,000億円程度の赤字が見込まれ、財務基盤を強化するために1.2兆円の資本増強を検討していること、また、この資本増強にあたっては、石川県のJAグループには要請がないことを説明いたしました。

しかしながら、6月19日の日経新聞ならびに一部地方紙の朝刊において、保有する外国債券の売却規模が10兆円にのぼること、当初見込んでいた赤字見通しが1.5兆円規模に拡大することが報道されました。

この報道自体は、農林中金の理事長が日経新聞のインタビューに答える形で説明した内容であり、現状で最も正確な内容であります。

支店説明会における説明と一部異なる内容が報道されたわけですが、資本増強の額は当初予定と変わらず1.2兆円の変更ありません。

支店説明会では石川県の信連・JAには要請はないとの説明をしておりましたが、石川県信連については、報道後、資金運用の観点から期間10年の劣後ローンの融資を検討していると聞いておりますが現状では決定していません。

なお、当JAへの直接的な影響はないことは、支店説明会で説明したとおりであります。

各種表彰

総代会開会前に、支店運営功労者表彰、優良生産組合表彰、大豆高生産技術共進会表彰、の授与を行いました。

なお、本年度受賞された皆様は以下の通りです。(敬称略)

【支店運営功労者表彰】

【寺井支店】

田中 寛二

谷 真良

【優良生産組合表彰】

1位 赤井町生産組合（中央支店）

2位 橘生産組合（川北支店）

3位 上清水町生産組合（中央支店）

【大豆高生産技術共進会表彰】

1位 農事組合法人 アグリ田子島（川北支店）

2位 宮本 明美（川北支店）

3位 農事組合法人 大地の輝（川北支店）



優良生産組合表彰受賞の皆さん



大豆高生産技術共進会表彰受賞の皆さん



支店運営功労者表彰受賞の皆さん



令和5年度 JA共済 優績ライフアドバイザー表彰式が開催され、 JA能美からは4名が受賞しました！

令和6年5月30日(木)に、ホテル日航金沢で全共連石川県本部主催の令和5年度JA共済優績ライフアドバイザー表彰式が行われました。JA能美からは釜田卓弥LA(川北支店)が金賞を受賞、北出 あみLA(川北支店)が銅賞・新人賞を受賞、仲仁谷 琴音LA(寺井支店)と中田 佳奈子LA(寺井支店)が新人賞を受賞しました。

この賞はJA共済に深くご理解を頂きご加入された加入者の皆様のおかげであると、心から感謝申し上げます。

各支店には地域の皆様に「ひと・いえ・くるま」に関する最適なプランを提供することができる優秀な渉外担当者が22名います。

この22名の渉外担当者がJA共済の事業理念である助け合いの精神のもと、地域の皆様に「安心」と「満足」を提供するため日々活動を行っております。渉外担当者が訪問した際にはどのような事でも結構ですのでお気軽にご相談ください。(JAN4月号掲載の渉外担当者紹介ページもご参照ください。)



はとむぎの種まき体験

6月7日(金)に寺井小学校5年生103人が、JA能美はとむぎ部会のみなさんの協力のもと「はとむぎの種まき」をおこなっていました。

この体験は初めて企画されたもので、種まきの準備作業から収穫、お茶になるところまでを体験する予定となっています。

こどもたちは「大変だったけど楽しかった!」「おいしいお茶になってほしい!」と様々な感想を話していました。



共同乾燥施設を見学

6月13日(木)に湯野小学校5年生42人が米作りの学習の一環で、西部ライスセンターとラック式低温倉庫能美市粟生町)の見学に訪れました。

すでに田植えの作業を体験しており、この日は刈り取られた稲がどのようにしてお米になるのか、出荷するまでどのように保管されているのかなどをそれぞれの施設で、担当職員より説明を受けました。児童からは様々な質問があり、米作りについて興味を持ってくれたことを感じることができました。



JA能美管内の小学校へ「ちゃぐりん」贈呈

JA教育文化活動の一環として、「食」の大切さや「食を支える農業」の役割にについて知ってほしいという思いから、管内の能美市および川北町内にある9小学校の4年生から6年生230人の児童へ、JAグループ子ども向け食農教育雑誌「ちゃぐりん」8月号を贈りました。

中出俊範代表理事専務が能美市教育委員会と川北町教育員会を訪問し、各教育長に目録を手渡しました。

JA能美は地域の農家さんに協力いただき、小学校の総合学習における米作り体験作業(学童農園)に取り組んでいます。



「ちゃぐりん8月号」米作りや
国産国産についての特集掲載



能美市教育委員会にて(校長先生らと共に、中央左は木下浩明教育長)



川北町教育委員会にて
(左は西田誠一教育長、右は中出俊範専務)

◆ 川北支部 花の寄せ植え ◆

6月12日(水) 川北集荷倉庫内

33名の支部部員が参加し、花市のスタッフ高さんが厳選した、ひまわり、アンゲロニア、日日草、コリウス、ペチュニアの5種類で寄せ植えをしました。鉢の中でどのように配置したらいいかなど、高さんにアドバイスをもらいながら、それぞれ完成させました。

ひまわりを寄せ植えするのはあまりないことなので、夏らしい花材に参加者は大喜びでした。



◆ 辰口支部 エコープマーク品の講習会 ◆

6月19日(水) 辰口支店2階

春夏の共同購入運動期間中であることから、エコープマーク品について詳しく知ろうと、メーカー 3社の職員を招いて各商品の特徴や便利な使い方を説明していただきました。部員41名が出席し、関心の高さがうかがえました。らっきょう酢でおなじみの大興産業・大山さんからは、夏バテ防止レシピの紹介や「5倍酢」は他社にはなく、エコープマーク品だけの販売であることや、漬け物の素でおなじみの厚生産業の浅田さんは「なす漬けの素」はナス以外の野菜を漬けても問題ないことを伝え、参加者は試食で納得していました。こめ油メーカーの築野食品工業の小川さんはキャノーラ油とこめ油の匂いの違いを実演して証明し、エコープマーク品の良さを実感した出席者は、講習会終了後共同購入でたくさん注文されていました。

コラム『家の光』読みました!!

女性部役員が「家の光」の読みどころ、感想をお伝えしてまいります!

読み応えあります

2024年7月号より

JA能美女性部 川北支部副部長 丸山 早百合

初めて『家の光』って聞いた時に、「えっ、何かの宗教関係の本???」と思ってしまった私です。

読んでみてねと渡された『家の光』は、かなり読み応えのあるもので不明を恥じました。

農家ではない私ですが、夫が家庭菜園という小さな畑を楽しんでいるので、野菜作りについての記事は参考にしています。勿論、野菜作りだけでなくためにもなります。7月号の「わたしの命は わたしが守る」は是非、読んでいただきたい記事です。先日、林修さんの『国産に関する講演会』もとても興味深く聞きました。

そして私が定期購読にした一番の理由は表紙にもあります。30年以上も応援していて舞台も見に行っている推しが5、6、7月号の表紙だと知って、嬉しい有難い気持ちになりました。

なかなかメディアに出られない時期を経て、また私達ファンの前に出て来られるようになった3人を、家の光協会の皆さま、どうぞ今後もよろしく願っています。



天秤座 (9.23~10.23)

【全体運】 コミュニケーションが良好に。話し合いの機会をつくりましょう。良い方向に向かいます。共同作業にツキあり
【健康運】 筋力アップのチャンス。スポーツもお勧め 【幸運の食べ物】 バジル

★ 手芸サークル「エコバッグ」作り ★

6月21日(金) 本店2階

手芸好きや手芸を得意としている部員12名が参加し、不要になった着物の端切れや布などを持参して「買い物袋」を制作しました。指導したのは、寺井支部の西田登喜子さん、斉藤悦子さんと中央支部の小水和田子さんです。「家の光」2024年5月号に掲載されたエコバッグの作り方を参考に、西田さんが簡単に出来るようアレンジした方法を教えてくださいました。



参加者自慢の 手芸作品を紹介



白Tシャツを
藍色に染めたもの



古い着物をリメイクした
洋服(アンサンブル)とイヤリング



布を組み合わせた
スリット入りのスカートとポーチ



お花の針山
(ミシン糸の収納付き)



飾り雑つるし飾り

今後の予定

*支部活動は各支店へ、グリーンレディースカレッジについては総務部へお問い合わせください。

- 8月6日(火) 手芸サークル「メガネケース」*JAN6月号ではペンケースと掲載しましたが変更です
場所：本店2階
- 9月17日(火) 辰口支部活動「日帰り研修旅行」
行先：石川県立図書館ほか
- 10月17日(木) グリーンレディースカレッジ④「健康増進ウォーキング(秋)」
場所：サンフィールド川北
- 10月29日(火) グリーンレディースカレッジ⑤「研修旅行」
行先：滋賀県JAグリーン近江ほか

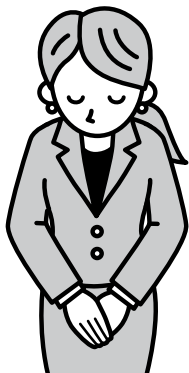


メガネケース

女性部・家の光などに関する
お問合せ、お申込は

☎ (0761) 57-3505

(総務部 女性部事務局:吉田・野原) までお気軽にお電話ください。



日頃より川北給油所をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

川北給油所ではお客様の利便性を図るため、年中無休営業（正月三が日は除く）に努めてまいりましたが、昨今の働き方改革により、**令和6年7月**より定休日を設けることにいたしました。

組合員の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

■変更日時：2024年7月より

■定休日：毎週日曜日、祝日

※ただし、ゴールデンウィーク期間中と9月の「祝日」は営業

JAグリーン能美



熱中症に注意



夏も本番、日差しが厳しくなるこれからの季節は熱中症や紫外線対策が肝心です。農作業中や外出時は、遮光性のある帽子等を着用してこまめに小休止を取って水分やミネラルを補給しましょう。

JAグリーンでは盛りだくさんの新鮮な農産物に加え、熱中症対策の品も各種取り揃えてお待ちしております。ぜひ、ご利用ください。

旬のオススメ

簡単キュウリの豚肉巻き



これからの暑い季節、熱中症が気になりますよね。そんな時にオススメの一品がオーブントースターで作るキュウリの豚肉巻きです。

水分を多く含み身体を冷やす作用があるキュウリと疲労回復をうながす効果のある豚肉を摂れる夏バテしない身体づくりにピッタリの一品です。簡単に作れますので、ぜひ一度ご家庭でお試ください。

（材料）キュウリ、豚肉、塩コショウ

- ① 洗って水気を拭いたらヘタを切ってから縦半分に切ります。
- ② 切ったキュウリに豚肉を巻き全体に塩コショウなどで味付けをします。
- ③ あらかじめトースターを250℃ほどに予熱しておき10～15分ほど焼けば出来上がりです。

7・8月の
主な行事7月26日 第4回定例理事会
第3回監事会

理事会だより

令和6年6月20日(木)開催の第3回定例理事会で、次の事項が審議・報告され、審議事項は原案通り可決しました。

- 審議事項
 - 定款第21条に基づく出資の減口承認について
 - 理事と組合との契約行為について
 - 令和6年度における理事の報酬について
 - 行政庁への業務報告書の提出について
- 報告事項
 - 令和6年度における監事の報酬について
 - 令和6年度末実績報告について
 - 令和6年7月次業務日程について
 - 役員互助等に係る役員積立金について

編集後記

パソコン、スマホの普及で様々な情報や知識を簡単に得ることができるようになった。反面、情報が多すぎる・・・と感じる私。どの情報を信じるのかを自分で判断しなければいけない。

世の中に出回っている数字や情報、テレビなどで放送された情報をそのまま信じ込んでいいのだろうか、本当に真実なのだろうか。頭がパンクしそう。便利な世の中であるが、情報に振り回されているような気にもなる。

そういえば先日、マイクロソフトの偽物サイトに誘導されそうになった。家のパソコンで調べものをしていた時だった。画面に大きく表示された次のページへをクリックした途端、大きな警告音と「トロイの木馬が」と書かれたメッセージが表示され、「今すぐマイクロソフトカスタマーセンターへ電話してください」と電話番号が載っている。警告音をまず消そうと試みるがメッセージ画面の×印が見当たらない。警告音は鳴り止まないのに焦り、早く電話しなくては・・・とスマホを手にとった。「いや、待てよ。」パソコン画面の電話番号をスマホでググってみると、マイクロソフトの偽サイト・詐欺サイトへ誘導する番号だと分かった。危うく電話をかけるところだった。ひと安心したが、あの警告画面はマイクロソフトのロゴ入りで本物だと私は信じ込んでいた。皆さんもお気を付けください。

○中央支店

☎(0761) 57-0036

○寺井支店

☎(0761) 57-1141

○辰口支店

☎(0761) 51-3115

○川北支店

☎(076) 277-1288

- ・監査室、総務部 ☎(0761) 57-3505
- ・金融共済部
金融部門 ☎(0761) 57-3505
共済部門 ☎(0761) 57-3508
- ・営農経済部
営農部門 ☎(0761) 57-2655
経済部門 ☎(0761) 57-2288

- ・JAグリーン ☎(0761) 57-4831
- ・農業機械課 ☎(0761) 57-2654
- ・自動車課 ☎(0761) 57-2653
- ・本店セルフ給油所 ☎(0761) 57-4292
- ・辰口セルフ給油所 ☎(0761) 51-4710

- ・川北給油所 ☎(076) 277-1789
- ・LPガスセンター ☎(0761) 51-5525
- ・加工センター ☎(0761) 57-1140
- ・葬祭センター ☎(0761) 57-4004
- ・配送センター ☎(0761) 52-0531

お気軽にお電話ください。

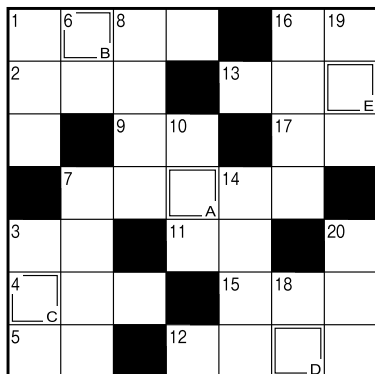
クロスワードパズル

解答用紙に必要事項を記入し、
最寄りの支店を通じて

◎メ切り：7月31日(水)

◎抽選で若干名の方に景品をお送りします。

本店総務人事課までご提出ください。 少しでも応募ください。

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

★タテのカギ

- 文系より——系の教科の方が好きです
- 医者いらずと呼ばれることもある植物
- 数え年70歳の祝い
- 精霊馬に使われる野菜の1つ
- 肉詰めにするのも定番の夏野菜
- コンビニエンス——、チェーン——
- 関西国際空港や中部国際空港は、——地に造られています
- 夏場によく食べられる麺
- 座は蠍(さそり)座と山羊(やぎ)座の間にあります
- パナマやスエズのものがある
- エビに見た目が似ているすしネタ

★ヨコのカギ

- トマトやスイカに含まれる赤い色素
- 海で水上——を楽しむ
- 独特の香りから香魚とも書く川魚
- 無駄遣いをする
- セーラー服のものは大きめ
- 孫悟空の乗り物です
- 酒などを入れる四角い容器
- ザーザー、しとしとと降ります
- 夏にはくズボン下
- アップの反対語。イメージ——
- パンダの遊具にも使われるゴム製品
- 小さな船を数えるときに使う言葉
- MB=—— バイト、GB=ギガバイト

6月号の答えは「サルスベリ」でした。
(今回の応募総数は31通)

当選者の発表は景品の発送を持って代えさせていただきます。

解答用紙

支店名

氏名

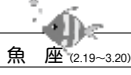
年齢

答え

住所



水瓶座 (1.20~2.18)

【全体運】対人運が活性化。たくさんの人に会うと良いひらめきを得られます。レジャースポットでいいことがありそう
【健康運】体をどんどん動かして。いい汗がかけます 【幸運の食べ物】ピーマン

魚座 (2.19~3.20)

【全体運】神経質になりがち。緊張で体を硬くしてしまうと状況まで硬直させてしまいます。リラックスを心がけましょう
【健康運】けがに注意。刃物や危険物の取り扱いには慎重に 【幸運の食べ物】ミョウガ

#能登のために

～能登のために、石川のために～

能登半島地震復興応援

定期貯金

キャンペーン

2024.6/10(月) - 8/30(金)

キャンペーン
対象取引

実施対象者 個人
対象貯金商品 定期貯金取引
[スーパー定期(複利)、自動継続]

預入期間 3年以上
預入金額 新規(ニューマネー)
50万円以上

適用金利(3年)

年 **0.15%**
(税引後 年0.119%)

キャンペーン期間中、県内JAの窓口で対象取引をされた方に
50万円を1口として 能登応援商品を抽選でプレゼント!

取引開始時、対象貯金商品を取引された方に
右記の景品をいずれか1つプレゼント

ふっくら大粒 石川県産
ひゃくまん穀ごはん 2パック

能登地区JA(はくい・能登わかば)の
お茶 2本セット

取引期間中

2025年8月末、2026年8月末に抽選を行い、以下の景品を県内合計でプレゼント。



2025年8月末

能登米と
ごはんのお供
セット

2,500名様



2026年8月末

能登丼
チケット
3,000円分

2,500名様

満期到来時

対象貯金商品満期後(3年経過後)に抽選で以下の景品を県内合計でプレゼント。



A賞 和倉温泉加賀屋ベア宿泊券
100組(200名様)

B賞 能登農水産物
ギフトセット 200名様

C賞 牛肉(能登牛) 300名様

※厳正なる抽選のうえ、当選者を決定いたします。※抽選日前に解約された場合は、抽選対象外といたします。※当選者には、JAより当選通知にてお知らせします。

※当選結果に関するお問い合わせにはお応えしかねます。※記載の景品当選者数は県内JA合計での当選者数になります。※復興状況により内容が変更になる場合がございます。※写真はイメージです。

J A 能 美
URL: <https://www.is-ja.jp/nomi/>

あなたに寄り添うパートナーバンク
 JAバンク石川
JAバンク石川は、県下15JAとJAバンク石川協議会の総称です。

ホームページはこちら
JAバンク石川



詳しくは、お気軽にお近くの
JAにお問い合わせください。